

BCPで自社の棚卸と未来を描く — 大村製本株式会社 —

企業概要・沿革

当社は、1957年に創業し60年をこえた製本会社です。

創業以来、こどもたちの絵本製本にこだわってまいりました。針金綴じから始まった製造品目も60年の間に30品目を超える製本様式に対応できるよう変化してまいりました。

お客様のご要望からヒントを得て、共に成長させていただき現在があります。紙の可能性を引き出すような加工ができるよう、皆様と一緒に考えカタチにします。

全ての皆さまと「幸せハッピー」を目指して。



相談できる製本屋

お客さまと現場が近いことが大村製本の強さです。営業と工場の一体化を実現し、お客様のご要望ご質問にスピーディーかつダイレクトにお応えしております。

営業が製造現場に出ることによって知識、経験、生の現場感覚を身につけ、お客様によりよいご提案ができるようにしております。

大村製本は製造業ではなくサービス業です。

柔軟な製造体制

少部数から大量生産まで対応できます。

最新の機械から50年以上現役で稼働している機械、オリジナル機械や改造した機械などさまざまな個性あふれる機械があるからこそ柔軟な製造が実現可能です。

仕事の取り組み

どんなに最新のいい機械があっても、色々なアイデアや品質、納期を作り上げるのは人です。

人の教育、経験、伝達、やりがいによって品質や納期が作り上げられています。ちょっとした気遣いを大切にして仕事をしております。みんなのちょっとした積み重ねが現在の大村製本です。

決して満足することなくちょっとした積み重ねを続けてまいります。

BCP策定への取り組んだ理由

東日本大震災では、工場の被災は微少でしたが、あらためて従業員の安否や設備、復旧に対する防災対策の必要性を痛感しました。

またBCPを策定することで自社をさまざまな角度から見つめなおすという目的もありました。コンサル的な分析ではない実務に沿った見つめ直しは、今後の未来を描くためにもとても重要と考えて取り組みました。

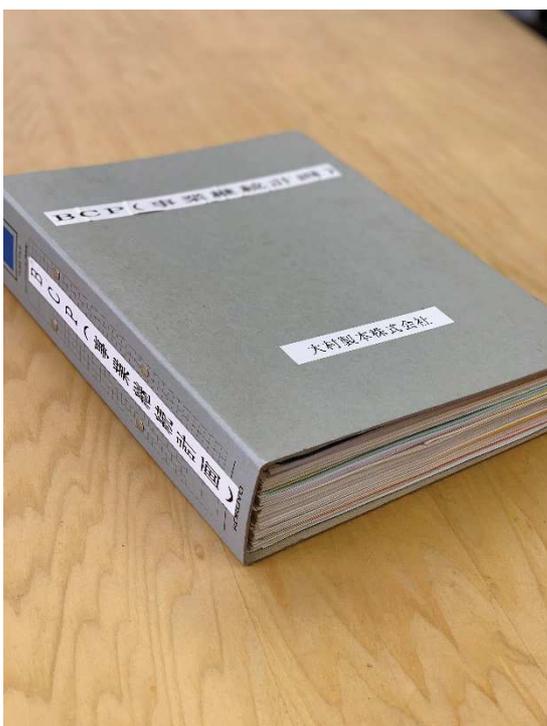
2018年9月、板橋区がBCP簡易モデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施するとのことで、この機会を利用してBCP策定を決意しました。



大村製本株式会社
代表取締役社長 齋藤和明氏

策定にあたり特に注力した点

- ①家族構成をも含めた安否確認、連絡方法など個人情報保護に細心の注意を払い仕組みづくりを行いました。
- ②BCP発動時、経営トップが復旧判断に必要な情報の「見える化」のため文書類を策定しました。また誰がみてもわかるような整理を心掛けました。
- ③年一では更新作業が大変なので文書の変更はその都度更新することとしました。



BCP策定の感想・効果

BCPを策定して、災害時、社員とご家族に安全を提供できるための必要情報をそろえることができました。

また事業継続のため必要な様々な連絡先を網羅できました。今まで一人しか知らなかった連絡先などを調べまとめることで情報を共有、把握することができました。

会社の見つめ直しという観点からも非常に有意義な書類ができ上がりました。

今回のBCP策定により、自社の経営姿勢を顧客に訴求でき一段の信頼を得られました。

これを基に継続していく自社の未来を描いてまいります！

事業者情報

事業者名	大村製本株式会社
本社所在地	板橋区前野町3丁目43-7
設立	昭和57年6月
資本金	3300万円
従業員数	50名
代表者	齋藤和明
Tel	03-3969-2361
E-mail	info@omuraseihon.com